

R I 第2760地区 職業奉仕委員長会議開く

国際ロータリー(R I)第2760地区は、地区内全クラブの職業奉仕委員長を招請して「地区内職業奉仕委員長会議」を開催した。地区職業奉仕委員会から各クラブの同委員会活動の説明、グループディスカッションによる各クラブ職業奉仕委員長間の意見交換などを行った。



約100人が出席した「地区内職業奉仕委員長会議」

冒頭、地区委員会が作成したDVD「真の職業奉仕がロータリーを救うか」を放映した後、近藤地区ガバナーがあいさつ。「DVDの中でも与えられた『天職』をまっとうすることが職業奉仕にあたるのではないかと、いうことで議論されているが、私は自分に与えられた職業を一生懸命に努めて自分以外の人が喜ぶことを行えば、自分も得るところが多い」と、職業奉仕について自らの考えを示した。さらに「現在は倫理観を失ったような世の中であり、190

近藤雄亮地区ガバナー



会議の成果への期待を述べる近藤地区ガバナー

方向性再確認が必要な時期

5年にロータリーが誕生した時と同じような状態ではないか。ただ当時は4人でルールや方向性を決めただけで、現在は当地区だけでも4800人を超えるメンバーが在籍している。これらの中で、職業奉仕という方向性について、どのようないくつかの方向性を出す必要がある時期だと思ふ。会議は大いに話し合っていた

職業を懸命に努め人が喜ぶことを

き、有意義な会議となることを期待している」と述べた。

議事に入り、初めに早川和男地区職業奉仕委員長が11月1日から3日まで名古屋市中区栄の久屋大通公園で開催する「第2回ワールドフード+ふれ愛フエスタ」について概要を紹介するとともに、「このフエスタは『ロータリーデー』として、全委員会が協力し合っており、組合員がリーダー方針が出されている。ぜひ各クラブで積極的に取り組んでいただきたい」と



職業奉仕委員会活動の説明などを行う早川委員長

委員長が「職業奉仕の入口」に基取り組むべきについて講演。「職業奉仕は具体的な活動内容が深いに分かると、奥が深い分、分かっていく。『奉仕の心を持って職業を営むこと』をキーワードに考え、また、職業奉仕を『職業サービズ』に置き換えて考えると分かりやすい」と説き、職業サービズの具体的な事例を紹介した。

社会に奉仕して社会良くなる

「前年度委員長」が委員会として、全委員会が協力し合っており、組合員がリーダー方針が出されている。ぜひ各クラブで積極的に取り組んでいただきたい」と

「前年度委員長」が委員会として、全委員会が協力し合っており、組合員がリーダー方針が出されている。ぜひ各クラブで積極的に取り組んでいただきたい」と

グループディスカッション

企業訪問の成果に高い評価

この後、8グループに分かれてグループディスカッションが開かれ、各クラブの職業奉仕活動をテーマに意見交換を行った。その中で「クラブの職業奉仕活動では主に職場訪問を行っており、訪問先は会員企業への訪問が基本的なスタンスになっている」と、「メンバーが興味を持てる企業を訪問することに努めている」、「異なる職業を訪問する」と、

活発な意見交換が行われたグループディスカッション

「このほかにも『職業奉仕は『四つのテスト』にすぎないと思ふ』、『自己評価を終えた。』」